

と呼ばれる引き抜き等々。現代の新しい道具と釣法には及ばないまでも、郡上釣りの理論と技法は最新釣法と呼ばれる現代の釣りのそこかしこに生かされている。

郡上の中でも白石橋から深戸新田にかけての通称美並地区は、水量が豊富で荒瀬と大淵が連続する川相の釣り場が多い。粥川との合流点付近に代表される豪快かつ変化に富んだ流れからは肩が盛り上がった、これぞ「郡上鮎」といった良型が姿を見せる。

瀬では、オモリを駆使してオトリをしつかり川底へ沈めることが釣果を左右する。一方、淵は水深があつて押しの強い流れが多いので、オバセを大きく取つた泳がせ釣りを主体にする。

一方で美並地区はラフティングのメッカでもあるため、入川場所によっては流下するラフティングボートが邪魔になって釣りにならないことがあるので注意する。通常は出発点の講和橋上流から遊々広場までが午前中のラフティングコースで遊々広場から下流勝原橋までが午後のコースとなっているので、うまく運行時間帯を外した入川を心がけたい。



※鶴瀬やドオクの瀬など遊遊広場より下流の釣り場は午後からラフティングが集中する。よって午前の釣り場になる

※トロ中心のポイント。泳がせ釣り派におすすめ

※瀬肩は数釣り有望

①長谷部オトリ店
②鶴瀬は長谷部オトリ店に駐車をして入川するのがベター

福野農道橋

※瀬肩のトロは終盤に数ができる

河川敷まで下りられる。周辺は岩盤と大石からなる荒瀬
※この釣り場より講和橋までは午前中にラフティングが集中する。よって午後に入川することをおすすめする



郡上でも一級の荒瀬である一の瀬、二の瀬、三の瀬。オモリと剛竿で挑みたい



右岸の土手から見る赤池橋上流の瀬。川のカーブで流れが一気に絞られて白泡が渦巻く荒瀬となる



「鶴瀬」と呼ばれる長い瀬が長谷部オトリ店の裏にある。ここも午後はラフティングが多く午前がおすすめ



遊遊広場は河川敷まで下りられて入川しやすい釣り場である。大岩、岩盤がつく荒瀬は釣り応え充分



右岸から見るタカセ。広大な平瀬が続いて周年人が絶えない



講和橋の下流はよい年は濃密なアユがいる好ポイント



深戸新田は岩盤大岩の連なる大場所だ。入川口が遠く穴場になり大アユが有望



講和橋上流の淵がラフティングの出発地。午前はラフティングが集中するので講和橋から三の瀬までは午後で釣るのがおすすめ



三日市鉄橋下の瀬は「ダン」とも呼ばれる。変化に富み探り甲斐のあるポイント